



俳人・松尾芭蕉の生誕から今年で370年。 市はこ れを記念し、さまざまな事業を展開しました。

5月に「国際俳句講演会」、11月には「おおが き芭蕉生誕370年記念シンポジウム」を開催。俳 句をキーワードに、国外や、芭蕉ゆかりの他都市 との交流を深めました。

また、市民団体などが企画・運営を務めた「市 民企画事業」では、ユニークなイベントなどで多 くの市民と団体がふれあいを楽しみました。

市は、今後も俳句文化の振興をはじめ、「奥の細 道むすびの地 大垣」を全国に向けて積極的にPR していきます。

さらなる定住促進に向けて

子育て世代を中心とした定住人口増加を図るため、 今年4月に都市プロモーション室を設置し、大垣の魅 力発信に向けた事業を展開しました。9月には、移住 を検討している子育て世代を対象に、移住・定住ポー タルサイト「大垣暮らしのすすめ」を開設しました。



また、市長とこれからの子育て世代となる10代・20代の女性が、大垣の魅



力や課題を語り合う意見交換会も開催。 初回は、10月に大垣女子短期大学で行わ れ、学生11人が若い女性ならではの感性 で、市長に思いを語りました。

市は、今後も人口減少に歯止めをか け、定住促進につながる施策の展開に努 めていきます。

"子育て日本一"の推進

「子育て日本一のまち」を目指す大垣市。

今年3月には、円形の園舎が特徴の北幼保園 が完成。回遊性のある空間により、園児の動き の「わ」・ふれあいの「わ」を実現しました。

また、今年度から、「子育て世代住宅取得支援 事業」を開始しました。中学生以下の子がいる などの条件を満たしたうえで、市街化区域内で 新築住宅を取得し、市外から転入した人に、住 宅取得資金の利子の一部を助成しています。



市は、今後も 子育て世代に優 しいまちづくり を推進していき ます。

歴史文化遺産の活用進める

10月6日、上石津町宮にある「西高木家陣屋 跡」が国指定史跡となりました。また、3月18 日には船町港跡が「おくのほそ道の風景地 大垣

船町川湊」として市 内初の国名勝に指定 されたことをきっか けに、国名勝指定記 念事業にも力を注ぎ ました。



市は、今後も文化

遺産の保護・整備・活用を推進していきます。

の 大垣市民 病院

大垣市民病院は、7月に西濃地域初と なる、最新鋭の血管造影システムと専用 の手術台を持つ「ハイブリッド手術室」を 導入しました。同手術室は、カテーテル による血管内治療と外科手術を同時に行 うことができるのが特徴です。



市民病院は、今 後も西濃地方の地 域医療の中核病院 として、良質な医 療の提供を続けて いきます。

▶消防操法大会(6日) ◆もんでこ かみいしづ(19日) ◆すのまた天王 祭(27日) ◆水都まつり(31日~)

◆大垣国際女子ソフトボール大会~O GAKICUP~(1日~) ◆水都っ

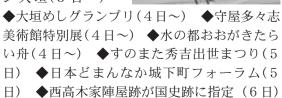
子ウィーク(2日~) ◆西濃運輸優勝報告会・ 祝賀パレード(3日) ◆大垣市・伊賀市こども

俳句教室(19日) ◆西 濃運輸優勝祝賀会(24 日) ◆総合防災訓練 (31日)=写真=



9月◆第3回市議 会定例会(1日~) ◆移住・定住ポー タルサイト「大垣暮らしのすすめ」を開設(1日) ◆ ツール・ド・西美 濃(27日)=写真=

10月 フルタウ ン大垣(3日~)



◆十万石まつり(12日) ◆おむすび博(18日~)

◆市民の健康広場(19日) ◆芭蕉蛤塚忌全国俳 句大会(19日) ◆ふれあいかみいしづ(26日)

◆湧水保全フォーラム全国大会 i n おおがき

(27日) ◆市教育功労者表彰式(31日)

◆中山道赤坂宿まつり(2日) ◆おお がき芭蕉生誕370年記念シンポジウム

(8日) ◆東西全国俳句相撲(9日) ◆大垣消 防フェスタ(9日) ◆かがやきライフタウン大 垣「秋のつどい」(15・16日) ◆芭蕉元禄大垣楽

市・楽座まるごとバザ ール(15・16日) ◆子 育て総合支援センター フェスティバル(23日) =写真= ◆芭蕉元禄



大垣イルミネーション(29日~)

12月 ◆第4回市議会定例会(1日~) ◆衆 ■議院議員総選挙(14日)